

Aモル#150

下地調整・補修材
ユニレックス3現場混入タイプ
JIS A 6916(CM-2)規格適合品

荷 姿



25kg紙袋

適用塗厚

0~15mm

標準施工面積

4㎡/袋(5mm)

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1204002
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用

特 長

1. 砂やセメントを混合する手間が省けます。
2. 耐候性に優れ、付着力が安定しています。
3. 適切な骨材配合の為、作業性が良く省力化、工期の短縮に適切貢献します。
4. 必要に応じて少量でも混練できます。

製品仕様

適用下地	コンクリート、PC板、ALCパネル、ブロック
適用部位	内外壁、内外床、手摺天端
適用化粧材	セラミックタイル、仕上塗材、Pタイル、タイルカーペット

上表以外の適用につきましては、お問い合わせ下さい。
※ALCパネル下地の場合は総塗厚を6mm以下として下さい。

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験結果	品質基準	
軟度変化 [%]	5.4	-20~20	
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れがない	
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれなし	ひび割れ及び剥がれがない	
曲げ強さ [N/mm]	6.2	5.0以上	
圧縮強さ [N/mm]	24.0	10.0以上	
付着強さ [N/mm]	標準養生	1.6	1.0以上
	低温養生	1.2	0.7以上
吸水量 [g]	1.4	2.0以下	
透水量 [ml/h]	0.3	0.5以下	
長さ変化率 [%]	-0.12	0~-0.15	
仕上材が復層 仕上塗材の場 合の耐久 性 [N/mm]	外 観	割れ、膨れ及び剥がれなし	割れ、膨れ及び剥がれがない
	付着強さ	1.4	1.0以上
仕上材がセラ ミックタイルの 場合の耐久 性 [N/mm]	付着強さ	1.6	0.6以上

試験方法: JIS A 6916²⁰¹⁴(CM-2)



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

施工方法

1. 下地の確認

下地の突起部や硬化不良部、油脂分、不純物などはサンダーや高圧洗浄機等で取り除いて下さい。

下地との接着性を確保するため、カップリングや高圧洗浄により目荒しを行って下さい。

2. 吸水調整

ユニレックス3(塗布型吸水調整材)を水道水にて3倍に希釈したものを左官刷毛等で施工面全面に塗布して吸水調整を行って下さい。

吸水の激しい下地(ALCパネル等)の場合は、ユニレックス3の5倍希釈液を2回塗布して吸水調整を行って下さい。

3. Aモル#150の混練

混練に際しては、Aモル#150(1袋:25kg)につき水道水7.0ℓとユニレックス3を1kg加えてハンドミキサー等を使用してよく混練して下さい。

練り置きは40分以内とし、水を加えての練り返しは行わないで下さい。



4. Aモル#150の塗付け

下地にピンホールがある場合は、最初に拾い塗りを行って下さい。

コテ圧を十分にかけながらこすり塗りをした後、所定の厚みまで平滑に塗付けて仕上げを行って下さい。

5. 養生

施工後に降雨雪のおそれがある場合、又は、通風・日照の激しい時にはシート養生等の保護養生を行って下さい。

夏場施工の場合は、施工翌日に散水養生を行って下さい。

次工程までの養生は、7日以上として下さい。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃して下さい。
2. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないで下さい。
3. 直射日光・風雨時にはシート掛け等、十分な養生を行って下さい。
4. Aモル#150の保管は、湿気・通風を避ける場所にして下さい。
5. 固まったものの使用は避けて下さい。
6. Aモル#150には練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないで下さい。
7. Aモル#150硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意して下さい。



Aモル#150は安全に正しくお使い下さい。PL法に関しては袋の裏書をよくお読み下さい。



公共建築協会
建築材料等評価名簿掲載材料
吸水調整材(モルタル用)
ユニレックス3
[18kg/缶]
塗布型吸水調整材
(EVA系合成樹脂エマルジョン)



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求下さい